

浜岡原子力発電所 防災訓練実施結果報告書の提出

2026年5月27日

当社は、本日、2025年度に実施した防災訓練の実施結果報告書(添付資料参照)を、原子力災害対策特別措置法に基づき、原子力規制委員会に提出しましたのでお知らせします。なお、この報告書は、2012年9月に原子力災害対策特別措置法が改正されて以降、原子力事業者防災業務計画で定める防災訓練実施後に、実施結果を報告しているものです。

今後も継続的に訓練を実施し、対応能力の向上を図ってまいります。

【報告書の主な内容】

1 訓練概要

運転中の浜岡原子力発電所4号機(安全性向上対策工事完了を想定)および停止中の3号機(安全性向上対策工事中を想定)において、同時に重大事故等が発生したことを想定し、訓練を実施しました。

2 訓練項目と訓練内容

訓練項目	主な訓練内容
重大事故等対応訓練	正確なプラント状況の把握および戦略決定・復旧戦略の立案、臨機な対応
通報訓練	通報文の作成、状況に応じた通信手段を用いた通報連絡
避難誘導訓練	発電所敷地内からの避難指示、避難誘導
原子力災害医療訓練	放射線管理区域内からの傷病者搬出、汚染検査、応急処置
モニタリング訓練	可搬型気象観測装置の設置、測定

3 訓練の評価結果

複数号機で同時に重大事故等が発生した場合における情報収集・状況判断、通報連絡等に係る活動について、概ね良好な結果が得られました。一方で、原子力規制庁緊急時対応センター(注1)への情報提供や情報共有ツールを用いた情報発信に関して一部課題が確認されました。

4 今後の対応

訓練を通じて抽出した課題について、今後改善を図り、次回以降の訓練で実効性を確認します。

添付資料 防災訓練実施結果報告書

参考資料 防災訓練実施結果報告書の用語集

注1 原子力規制庁緊急時対応センターとは、原子力施設で事故や災害が起きた際、原子力事業者などから収集した情報を踏まえ、原子力施設の状況の分析や今後の事故進展予測などをおこなうための政府の活動拠点です。

以上